



青葉学級担任

山田 星悟 山口 茉衣  
岡部 伸秀 岩坂 代志乃

「こちら ひがはぎあおばです！」の今年度第2号をお届けいたします。今回は、青葉学級と通常の学級との給食交流について、東萩山小青葉学級と他校との交流についてお伝えしていきます。

## 青葉学級と通常の学級との給食交流

### < 4年生との給食交流 >

青葉学級と4年生との給食交流は、例年交流学习として取り入れている取り組みです。4年生を青葉学級の教室に招待し、一緒に給食を食べます。同じグループの子供たち同士で自己紹介をし合ったりお話をしたりしながら楽しく交流していきます。

12月～1月にかけて、4年生8名ずつを青葉学級に呼び、一緒に給食を食べました。

青葉学級には、4年生が2名在籍しています。その2人が時間になったら4年生の教室に行き、青葉学級の教室まで案内する係を担当しました。4年生の教室のドアをたたき、「給食交流来て下さい！！」と二人が呼びかけると、「あ！〇〇くん！！」と、青葉学級4年生の名前を呼びながら手を振ってくる4年生が数人みられ、1年生からの交流学习の積み重ねの成果を感じました。

「手伝ってあげる」、「助けてあげる」というような一方的なものだけでなく、このような「同じ東萩山小の友達」としての自然な関わりができるようになることを期待して交流活動を進めています。

青葉学級の教室に着き、給食を食べ始めると、やや緊張気味だった4年生の子供たちも緊張がほぐれ、楽しく自己紹介やお話をしながら過ごすことができていました。給食を食べ終わるころには青葉学級の子と4年生の子でじゃんけん遊びをしたり、昼休みに遊ぶ約束をしたりする様子も見られ、相互に関わり合うことができていると感じました。

4年生との給食交流を終えて、「4年生に友達ができたと！」と話してくれる青葉学級の子が数人いました。これを機会に、教師の仲介がなくても共に関わり合う姿が増えてくるとよいと考えています。



### < 3年生との給食交流 >

3年生との給食交流は、青葉学級の3年生が「3年1組で給食が食べたいよ～」と熱望したことをきっかけとして、担任間で相談をし、スタートしました。

3年1組、3年2組、3年3組の子供たちが、青葉学級3年生4名に向けて給食交流に招待するための手紙を書き、青葉学級3年生に直接手渡しました。青葉学級の3年生は恥ずかしそうに、でもとても嬉しそうな様子で手紙を受け取っていました。

3年生との給食交流は、4年生との方法とは逆で、青葉学級の3年生が3年生の教室に行く形で行いました。3年生の教室に着くと、3年生の子供たちが「あ！！〇〇くん来た～！！」「〇〇くん、こっちだよ！！この席に座って！！」と明るく迎えてくれて、緊張気味だった青葉学級の3年生も少しほっとした様子でした。

食べ始めると、青葉学級の友達に対して、3年生からどんどん質問や話題を振り、声をかける姿が見られました。時間が過ぎるにつれて少しずつ青葉学級の3年生も打ち解けた様子で会話することができるようになってきました。

食べ終わると、「〇〇くん、今度休み時間なわとび一緒にやろ～」と遊びに誘う声も聞かれました。教師が促すことなくそういった言葉が出てくることを、とても嬉しく思いました。

3年生とも、給食交流をきっかけとしてクラス遊びや行事等を一緒に行い、今後も自然な関わりが増えてくることを期待しています。



# 東萩山小青葉学級と他校との交流

## <多摩地区の特別支援学級との交流>

例年12月に、東村山市、東久留米市、清瀬市の特別支援学級の子供たちが集まって運動会を行う、「特別支援学級連合運動会」が実施されています。本校の青葉学級の子供たちもこの運動会には毎年参加しています。

今年度は12月9日に行われ、今年度も元気に参加してきました。

例年、バルーンの中に他校の友達と手をつないで入る種目、全員でダンスを楽しむ種目、2～3校が1チームになって行う団体種目など、交流を重視した種目を多く取り入れています。かけっこでは、普段関わったことのない他校の友達と、一生懸命競い合う姿が見られました。



## <八坂小青葉学級とのマラソン交流大会>

1月18日(水)に、八坂小学校青葉学級とマラソン交流大会を実施しました。毎年1月ごろ、東村山中央公園で東萩山小青葉学級の子供たちと八坂小青葉学級の子供たちでマラソン大会をしています。中央公園のコース約1.5キロメートルを2校一斉にスタートし、一人一人が完走を目指します。

今年度も、自分の去年の記録よりもよい記録を出すことを目標に、両校の全員が頑張りました。1位、2位を争っていた二人は、一人は本校の青葉学級の児童、一人は八坂小青葉学級の児童でした。お互いにライバル意識をもって最後まで競い合って走り、ゴール後にお互いの健闘を称え合う姿が見られました。



## <化成小青葉学級・大岱小青葉学級とのたべものやさん交流>

1月30日(月)に、化成小青葉学級と大岱小青葉学級の子供たちを招待して、「たべものやさん交流」をしました。本校の青葉学級の子供たちが、自分たちで手作りした食べ物のお店を出し、化成小、大岱小青葉学級の子供たちが実際のお金で、買っていきます。総合的な学習の時間に少しずつ準備を進め、今回は「チョコバナナやさん」、「クレープやさん」、「ポップコーンやさん」、「ピザやさん」の4つのお店を出し、交流しました。

看板や値段の表示等も自分たちで手作りし、お店に飾りました。当日は会計、商品渡し等の役割を分担して、それぞれが自分の仕事に責任をもって取り組む様子が見られました。

化成小、大岱小青葉学級の子供たちも、とても楽しそうに4つのお店をまわり、お金のやり取りを上手に行っていました。互いにお金や商品のやり取りをしながら会話し、よい交流となりました。

この「たべものやさん交流」は、他校との交流の他に、キャリア教育としての意義もあります。自分が作ったものを実際に売り、利益を得るということを実際のお金を使って経験することで、将来子供たちが職に就いたときのことをイメージさせます。売る活動が終わった後には、事後学習として利益の計算をする活動にも取り組ませています。この活動が、子供たちの将来に少しでも生きていけば嬉しいです。

◎他校の特別支援学級の子供たちとの関わりも、子供たちの社会性を伸ばすことにつながっていくと考えています。普段あまり関わりのない友達と共に過ごす場面でも、自分の力を十分に発揮できるようになることを期待しています。

今回は、4年生、3年生と行った給食交流、他校の特別支援学級との交流を中心にお伝えしてきました。交流学習をきっかけとして、日頃からの関わりも多く見られるようになりました。これからも進めてまいりたいと考えます。

今年度の「こちら ひがはぎあおばです!」は今回が最終号となります。来年度も、青葉学級の様子や交流学習の取り組みについてお伝えしていきます。ぜひ来年度も皆さんにご覧頂き、青葉学級について知る機会の一つとしていただければ幸いです。